

公園で出会った子連れのお姉さんと その日中にセックス

「まあ・・・・・・・・ちょっとくらいなら・・・・・・・・」

そう言ってお姉さんはこくっと頷いた。

軽率に行動すれば失敗もある。だけど・・・・・・・・。

お姉さんは勇気を振り絞ったのかな。

それとも単に本能に負けてしまっただけ？

お姉さんのバイオリズムにジャストでヒットしただけだろ

うか。

女の人ってやりたい時ってあるみたいだから。

「こ……子供を自宅に戻してくるわね。おばあちゃんが
いるから代わりに世話してくれるわ」

なんだか緊張気味のお姉さん。

こういうのには慣れていないのかな？

子供は今が一番世話が焼ける年で、本当はなるべくずっとそばにいないといけならしいんだけど。

やっぱりお姉さんも・・・女、だもんね。

ちなみにお子さんは、哺乳瓶に変わったらしい。おっぱいの
ちゅうちゅうから。

お姉さんは電話をかけ、おばあちゃんに子供を迎えに来ても
らうことに。

駅の隅っこには交番。

近くにはプールなどの総合スポーツ施設がある。

とても穏やかに晴れた冬間近の午後である。

「とりあえずおばあちゃんには仕事の関係者だと伝えるわ。
ふとナンパされた男の人だなんて言えないものね・・・」

俺自身、特段ナンパなどするつもりはなかった。

趣味のランニングで走っていた。ある程度走ったので途中で
少しクールダウンしようと公園に立ち寄ったらお姉さんと
目が合った、それだけのことだ。

確か・・・目が合ったその次の瞬間お姉さんは視線を斜め下
に下げて寂しそうに腰にそっと手をやり、その後公園の遊具
で遊ぶ子供をぼーっと眺めた、その流れだ。

俺は自然に声をかけていた。

「ホテルでも行きませんか？」

今はナンパってあまり聞かなくなったよね。

そういう時代だから、本当にその気はなかった。

うまく言えないけれど・・・その場の気の赴くままの行動だ。

(体験版はここまでです)